

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙①

応 募 者 に 関 す る 情 報

記入日： 2012 年 11 月 30 日

応 募 者 情 報	
応 募 団体名	<p>(フリガナ) カナガワクミンマツリジッコウイインカイ</p> <p>神奈川県民まつり実行委員会</p> <p>(団体名)</p> <p><small>※協働プロジェクトでの応募の場合は、代表団体名以下プロジェクトに参加している主な団体名をご記入下さい。</small></p>
応 募 担当者 連絡先	<p>団体名： 神奈川県役所</p> <p>所在地： 〒221-0824 横浜市神奈川区広台太田町 3-8</p> <p>部署名： 総務部 区政推進課</p> <p>役職名： 企画調整係長</p> <p>氏 名： 鈴木 陽子</p> <p>TEL： 045-411-7027 FAX： 045-314-8890</p> <p>E-Mail： kg-kusei@city.yokohama.jp</p>
ホームページ	<p>http://www.city.yokohama.lg.jp/kanagawa/kusei/eco-clean/ecoscrumevent.html</p>
<p>応募団体の主たる事業（※行政の場合は、記入は不要。最大 2000 字入力できます。詳細は別紙添付可）</p> <p>神奈川県民まつり実行委員会は、各地区連合町内会長・区内団体会長等で構成される組織であり、毎年 10 月に開催される神奈川県民まつりの準備、運営を担っています。区民まつりは神奈川県最大級のイベントであり、区民の方々にとって大きな発表の場、交流の場となっています。区民まつり実行委員会では環境に配慮した取り組みを実践しており、カーボン・オフセットによる CO2 削減のほか、ごみ量の削減・リユース食器の利活用などを行っています。</p>	

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙②

応募するカーボン・オフセットの取組についての基礎情報 (1次審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙②全体で A4 用紙 3 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_data1st.html

1. 応募するカーボン・オフセット活動の名称・タイトル

カーボン・オフセット認証を取得済みの活動については、認証番号もあわせて記載下さい。

被災地支援クレジットを活用した「神奈川区民まつり」でのカーボン・オフセット

2. カーボン・オフセット活動の概要

<カーボン・オフセットの分類>

以下の4分類からひとつ選び、□に✓をつけてください。

- 商品使用・サービスオフセット
- 会議・イベントオフセット
- 自己活動オフセット
- 自己活動オフセット支援

【参考】

環境省による「カーボン・オフセット第三者認証基準(Ver.1.1)」に基づく分類

<http://www.jcs.go.jp/pdf/document/kijun.pdf>

<カーボン・オフセット対象・・バウンダリ>

カーボン・オフセットの取組内容に関して、オフセットの対象範囲をお書きください。

【例】3①-1に記載した算定範囲と同じ or 算定範囲のうち、〇〇、〇〇の部分に関してカーボン・オフセットの対象とした

■2011年度神奈川区民まつり
・会場の電力使用

■2012年度神奈川区民まつり
・会場の電力使用
・廃棄物の処理

<カーボン・オフセットの取組の実施期間>

カーボン・オフセットの実施期間についてお書きください。その際、2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを実施継続している事例または2010年1月1日以降にカーボン・オフセットを開始した事例であることが応募にあたっての必要要件となりますので、御注意ください。

【例】2009年4月1日から2009年10月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格外

2009年4月1日から2012年3月31日までが取組の実施期間の場合⇒応募資格有

2012年3月15日以降、現在も継続中（終了時期未定）の場合 ⇒応募資格有

■2011年10月9日

■2012年10月7日

<カーボン・オフセットの取組に関する情報提供方法>

自社HP等、カーボン・オフセットの取組をウェブに掲載されている場合は、URLを記載願います。

■神奈川県役所HP イベントでのエコな取組
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kanagawa/kusei/eco-clean/ecoscrumevent.html>

■岩手県HP 岩手県県有林J-VER活用先の紹介
<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?of=1&ik=0&cd=42559>

3. 1次審査項目

①自らの行動に伴う温室効果ガスの排出量の認識

カーボン・オフセットの取組内容に際して、排出量の算定についてお書きください。

(自己活動オフセット支援以外の場合)

①-1 排出量の算定方法及び算定範囲

- ・算定対象：2011年度神奈川県民まつり（2011年10月9日開催）
- ・算定範囲：会場の電力使用

- ・算定対象：2012年度神奈川県民まつり（2012年10月7日開催）
- ・算定範囲：会場の電力使用、廃棄物の処理

算定に当たっては、カーボン・オフセットの対象活動から生じる温室効果ガス排出量の算定方法ガイドライン（Ver.2.0）を用いた。

①-2 排出量の算定に利用したデータ種類

会場の電力使用量、排出された廃棄物の量

(自己活動オフセット支援の場合)

①-3 利用者に帰属する排出対象活動

- 【例】利用者の1日の日常生活に伴う排出量 ○○kg
【例】購入製品使用時に伴う利用者に帰属する排出量のうち購入後1年分にあたる、○トン。商品販売時に顧客に提示。

①-4 利用者に対する排出量の提示方法

②排出削減努力の実施

取り組まれた排出削減努力について該当とする取組に✓をつけてください（複数可）。なお、取組のアピールも含めた詳細については、応募用紙③「1. CO2排出削減努力と関係者の理解や協力」に詳しく記載して下さい。

- 節電 節水 廃棄物の減量化 省電力機器の導入 公共交通機関の利用・呼びかけ
 その他（具体的に _____)

③オフセットの手続き

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等の種類>

使用したクレジット等の種類をお書きください。なお、異なるクレジットを併用した場合の各割合（%）についても記載してください。【例】J-VER（○%）、CER等（△%）など

- ・2011年度：J-VER（1トン）
- ・2012年度：J-VER（1トン）

<カーボン・オフセットに利用したクレジット等のプロジェクト名称>

使用したクレジット等の具体的な温室効果ガス削減・吸収プロジェクト名をお書きください。

排出権創出事業者：岩手県

削減事業：県有林岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト
(2011、2012年度共に)

<カーボン・オフセットに利用したクレジットの無効化に関する状況>

取消、償却実施年月、もしくはその予定についてお書きください。

- ・ 2011年11月11日無効化済み
- ・ 2012年10月25日無効化済み

第2回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙③

応募するカーボン・オフセットの取組についてアピールポイント (本審査での重点ポイント)

応募に関して、写真（JPEG 等）や概要図（PDF 等）は別途メール等で事務局までお送りください。

応募の際にいただいた資料は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

※記述欄が不足する場合は、用紙の追加も可能ですが、応募用紙③全体で A4 用紙 4 ページ以内にまとめてください。

※第1回カーボン・オフセット大賞の1次審査を通過した事例一覧もご参照ください。

URL : http://www.carbonoffset-network.jp/award1st/entry_datalist.html

1. CO2 排出削減努力と関係者の理解や協力

■ 排出削減努力について

イベント会場では、来場者に対してゴミの分別やリユース食器の使用を実施しました。当日排出されるゴミの量を削減することで、区民に対する環境配慮意識の向上と、CO2 削減の努力を行いました。

■ 関係者との協力について

2009 年より企業協賛による来場者数に応じた植林を行っていましたが、2011 年からは実行委員会自身もカーボンオフセットの取組を行うことを決定し、実施にあたり被災地支援にもなるクレジットを選択しました。イベント全体のCO2の算定は、区が委託したオフセットプロバイダーに協力を頂きました。

2. カーボン・オフセットの内容

■ 取組の意義・重要性について

神奈川県では、地域での環境行動を推進していくために、神奈川県民まつりのカーボン・オフセットを実施しました。神奈川県最大級のイベントである区民まつりにおいてカーボン・オフセットを実施することで、多くの来場者に環境貢献への取り組みを啓発することができます。特に、今回の取り組みでは2年連続で被災地岩手県の J-VER を用いました。これにより、被災地への資金還流が可能となるだけでなく、被災地域の森林保全にも同時に貢献することができました。

■ 取組の継続性・展開について

次年度以降においても、引き続き被災地のクレジットを用いたカーボン・オフセットの実施を検討しており、この取組により、区民、区内の団体や企業に対してもカーボン・オフセットをPRすることが出来ると考えています。

3. 環境、地域・社会、産業振興等の貢献性

次の①～④のいずれか（複数可）の観点での貢献性についてアピールしてください。

- ① 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する河川・湖沼をはじめとする内水面や土壌・大気あるいは生物多様性といった自然環境への配慮や保全などの環境の面での貢献
- ② 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する地域・社会への経済的便益や効果、第1次産業と他産業との連携促進、地域活性化や一村一品活動の拡大などの地域・社会の面での貢献
- ③ 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する中小企業振興や産業基盤にとって重要な安定的なエネルギー供給・確保、環境と調和した市場の牽引などの産業振興の面での貢献
- ④ 自らが行うカーボン・オフセットの取組から波及する国際貢献等、さまざまな面での貢献

②地域・社会の面での貢献に関して

神奈川県民まつりは毎年恒例のイベントとして開催されており、多くの区民が楽しみにしている区内最大級のイベントです。当日の会場は、ステージイベントや地元自治会町内会や企業等による模擬店や物産販売、フリーマーケットなどが行われ、毎年数万人の人が訪れています。

この区民まつりにおいて、神奈川県役所では2009年度から3連続でカーボン・オフセットを実施しています。（2010年度までは、企業協賛を得て、植林によるカーボン・オフセットのみを実施）多くの区民にカーボン・オフセットをPRすることで、区民の環境意

識の向上を図ることができます。そして、2011、2012年と連続で被災地 J-VER の用いたカーボン・オフセットをすることで、環境貢献だけでなく、被災地貢献にもつながる取り組みとなっています。

今後もカーボン・オフセットの取組をイベントや HP で広報していくことで、区内の団体や企業にも取り組みが波及することも期待されます。

4. 普及啓発の創意工夫とその成果

■取り組みの工夫に関して

カーボン・オフセットの実施にあたり、主体者には CO2 排出削減の努力が求められます。神奈川県では、区民まつり開催にあたり、会場ですべてのゴミの量の削減を行うことを考えました。ゴミを削減する手法として、模擬店で販売する食品にリユース食器（使い捨てでなく、洗浄して再利用できる食器）を用いたり、ごみの分別を強化するなどの取組を実施しました。

■人々や社会に与えた影響に関して

2010 年までの区民まつりでは、企業協賛により植林によるカーボン・オフセットを実施していました。実行委員会でもカーボン・オフセットを実施するにあたり東日本大震災発生を受け、2011、2012 年度は、少しでも被災地を支援したいとの思いから、岩手県で創出されたクレジットを用いることとしました。

■啓発について

事前に行われる区民まつり出店者説明会で、関係者への周知を行いました。当日も、ごみの分別、リユース食器の使用を呼びかけるとともにカーボン・オフセットを行っていることを PR するポスターを各ブースに掲出し、来場者に区民まつりがエコなイベントであることをアピールしました。

5. ストーリー性

■取組についての「魅力」「面白さ」「ユニークさ」に関して

横浜市内には 18 の区が存在し、各地区では毎年秋ごろに区民まつりが行われます。この区民まつりの中で、毎年連続（3 年連続）でカーボン・オフセットを実施しているのは神奈川県が唯一です。今後もカーボン・オフセットの実施を続けていくことで、横浜市内での環境活動に貢献し、地球温暖化防止および被災地への貢献へと繋がる取り組みを目指します。

■低炭素社会の実現への貢献に関して

神奈川県民まつりは、ごみの分別とリユース食器の返却による CO2 削減だけでなく、カーボン・オフセットを追加的に実施することで、さらに環境に配慮したイベントへと変遷してきました。今後も引き続きカーボン・オフセットの実施を検討しており、環境未来都市である横浜市の一つの区として、引き続き環境配慮活動を行なっていきます。

以上に記載された取組について別途説明資料がございましたら、PDF の場合はメールでお送りいただくか、現物資料を郵送ください。

また、公開可能な商品・サービスの様子がわかる写真を（JPEG 等）お送りください。

第 2 回 カーボン・オフセット大賞 応募用紙一式 送付先およびお問い合わせ先

カーボン・オフセット推進ネットワーク事務局
（担当：入山、井上）

〒東京都港区芝公園 3-1-8 芝公園アネックス 7 階
電話 03-5776-1223 ファックス 03-5472-0145

E-Mail award@carbonoffset-network.jp